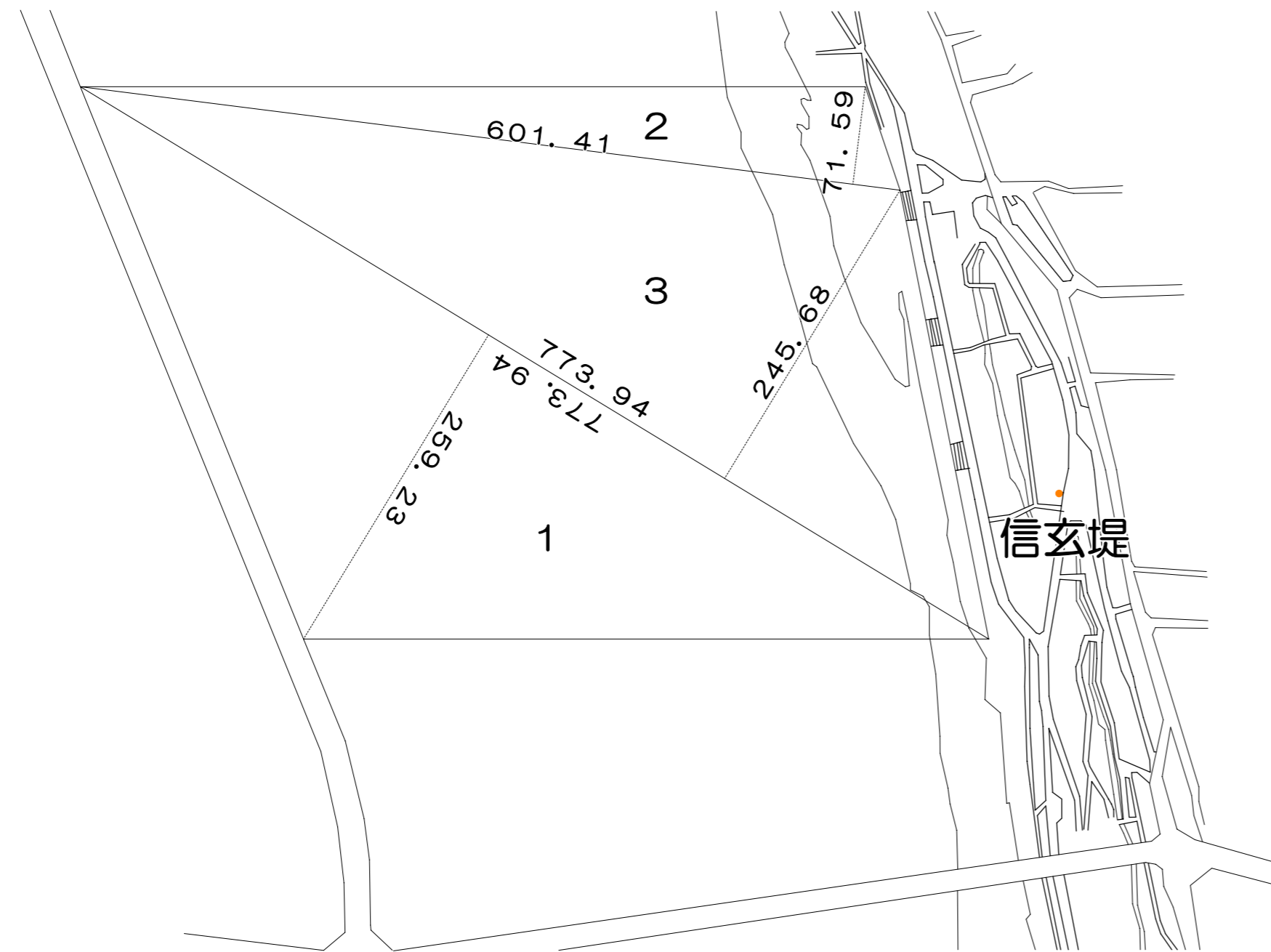


* I N Kamanashi River *

S H I P

建築科 3年 17番 新海陽子

AQUARIUM



求積図

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	773.94	259.23	200,628.4662	100,314.23310
2	601.41	71.59	43,054.9419	21,527.47095
3	773.94	245.68	190,141.5792	95,070.78960
合計				216,912.49365
敷地面積				216,912.49 m ²

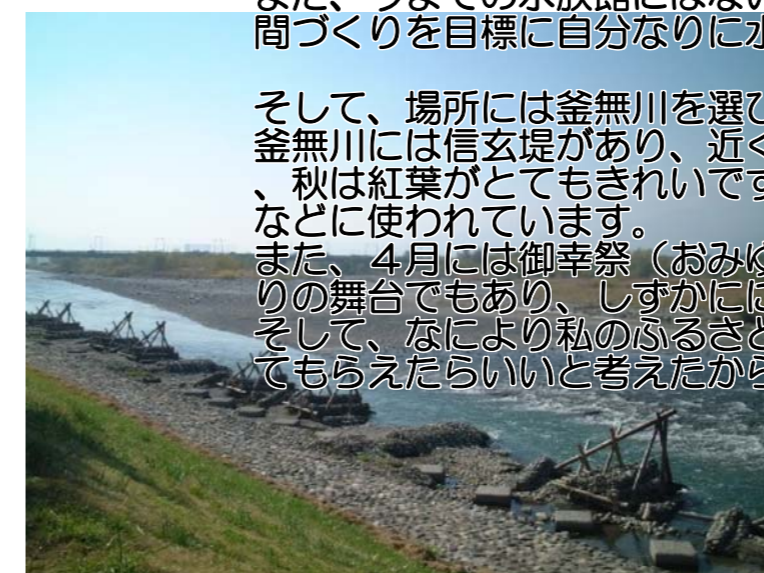
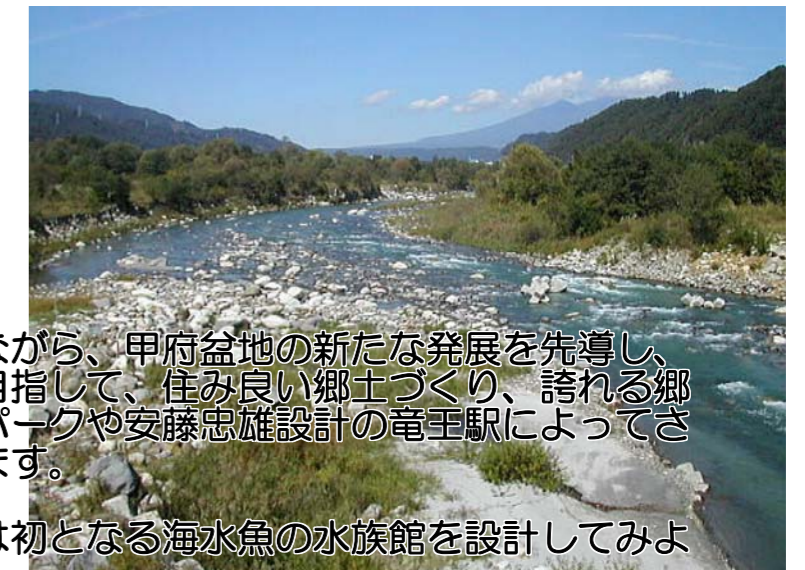


CONTENT

甲斐市は、緑豊かな自然環境との調和を図りながら、甲府盆地の新たな発展を先導し、「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現を目指して、住み良い郷土づくり、誇れる郷土づくりを進めています。また、kai・遊・パークや安藤忠雄設計の竜王駅によってさらに観光地としても発展していこうとしています。

私は甲斐市をさらに発展させるため、県下では初となる海水魚の水族館を設計してみようと思いました。また、今までの水族館にはないような設計、大人から子供まで楽しめるような企画・空間づくりを目標に自分なりに水族館が設計できたらと考えました。

そして、場所には釜無川を選びました。釜無川には信玄堤があり、近くには歴史的な寺や木々にあふれています。春は桜がさき、秋は紅葉がとてもきれいなので紅葉の道として、中学校の強歩大会やサイクリングなどに使われています。また、4月には御幸祭（おみゆきさん）とよばれる甲州三大御幸のひとつでもあるお祭りの舞台でもあり、しずかににぎわいをみせる場所だったからです。そして、なにより私のふるさとが発展していくことで山梨県甲斐市が日本中の人に知ってもらえたらいいと考えたからです。

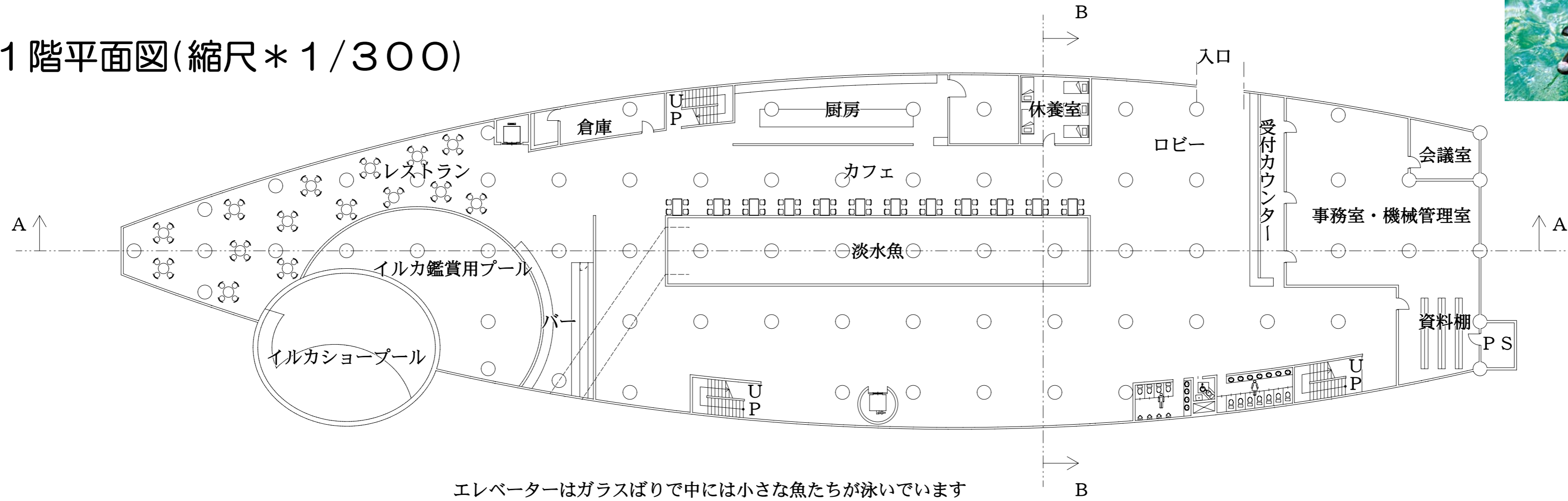


PLAN

中央の淡水魚水槽には釜無川の魚を流れ込ませ、また機械で川にもどす水槽の高さを低くし、お客様にも餌やりができるようにした。



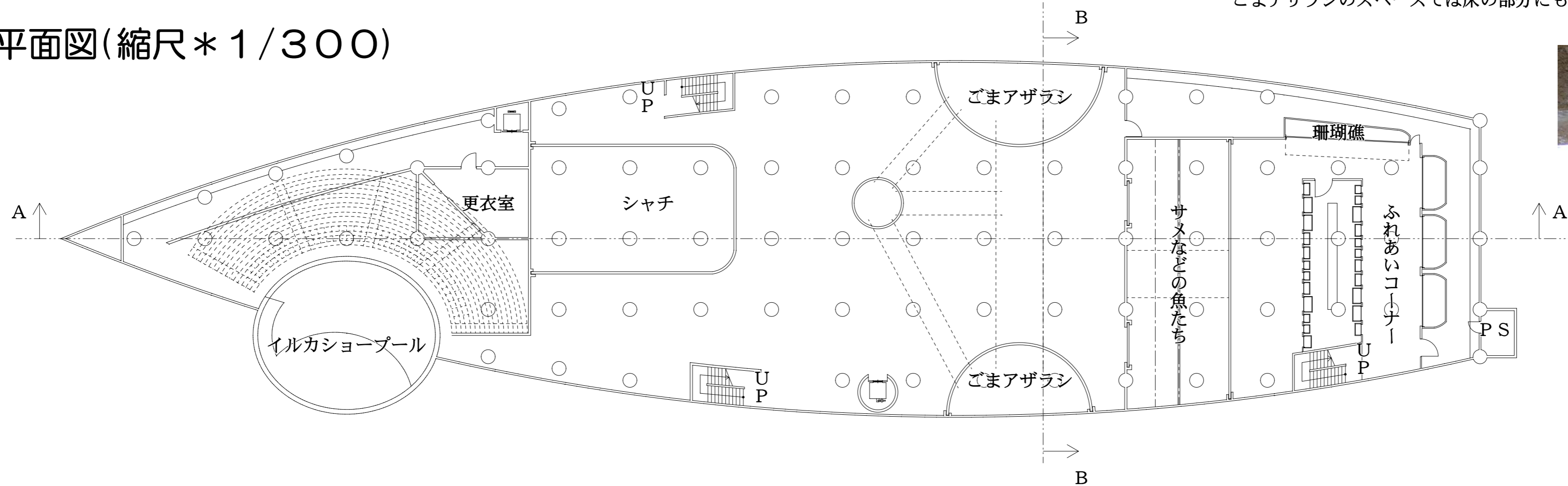
地下1階平面図(縮尺*1/300)



エレベーターはガラスばかりで中には小さな魚たちが泳いでいます

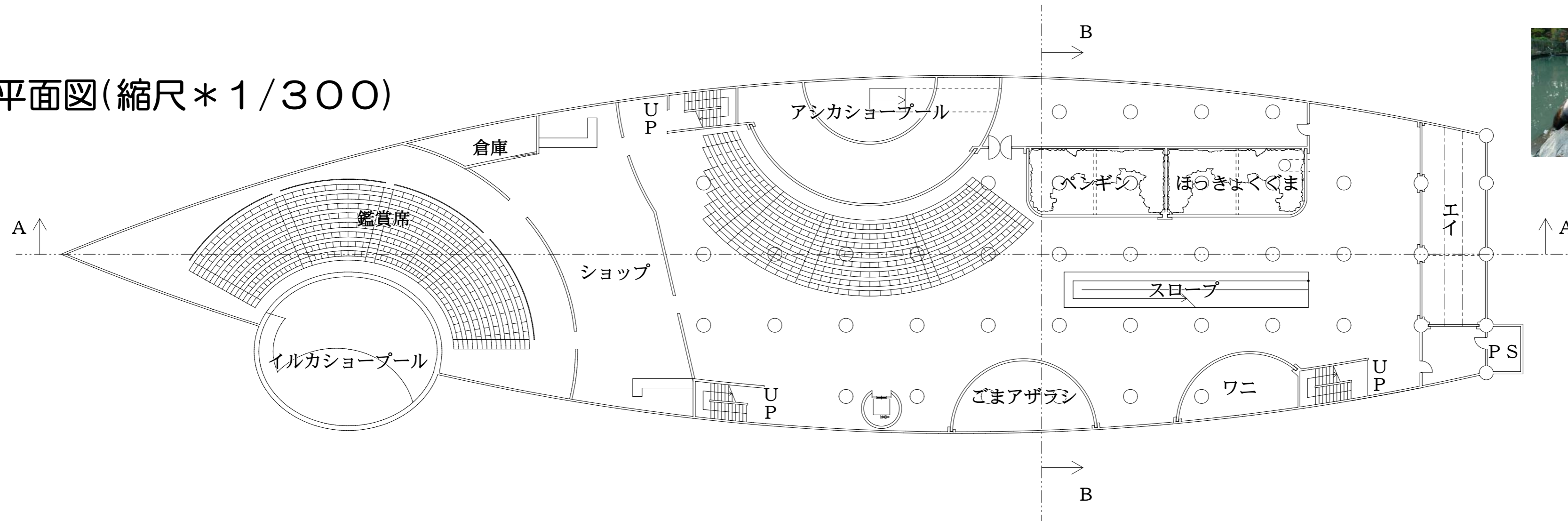
サメなどの水槽は2つに分かれているので海の中の雰囲気を楽しめ、トンネルによってさらに幻想的な雰囲気を楽しめる。ごまアザラシのスペースでは床の部分にも鑑賞できるようにした。

1階平面図(縮尺*1/300)



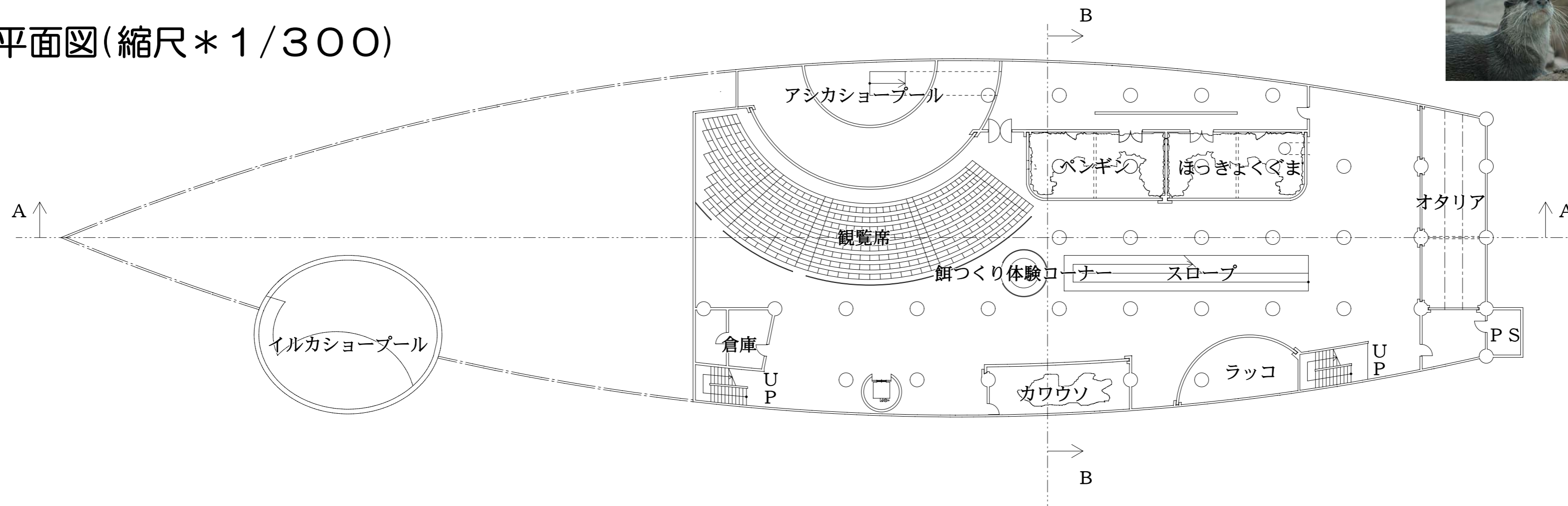
ペンギンとほっきょくぐまは2階から3階までつながっているのでスロープを設けることによって観覧をやすくした。

2階平面図(縮尺*1/300)

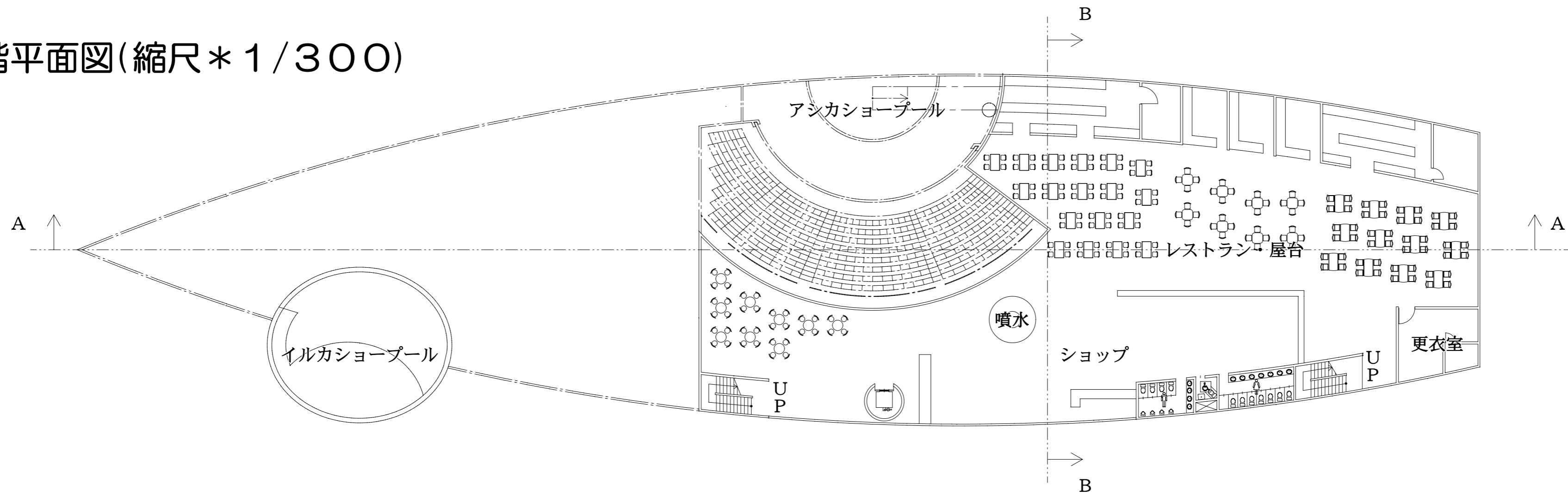


3階ではペンギンにはフロアの散歩を、またカワウソとのふれあい体験をメインにしました。

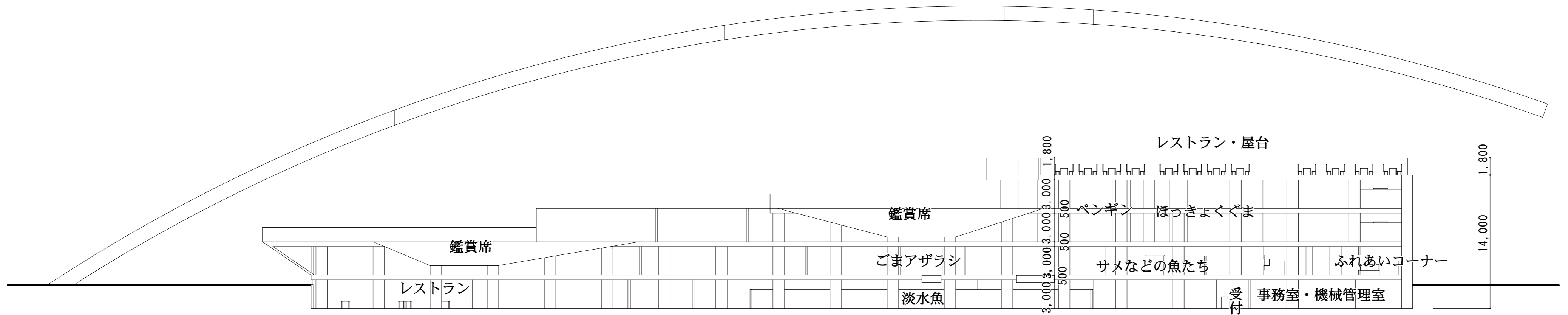
3階平面図(縮尺*1/300)



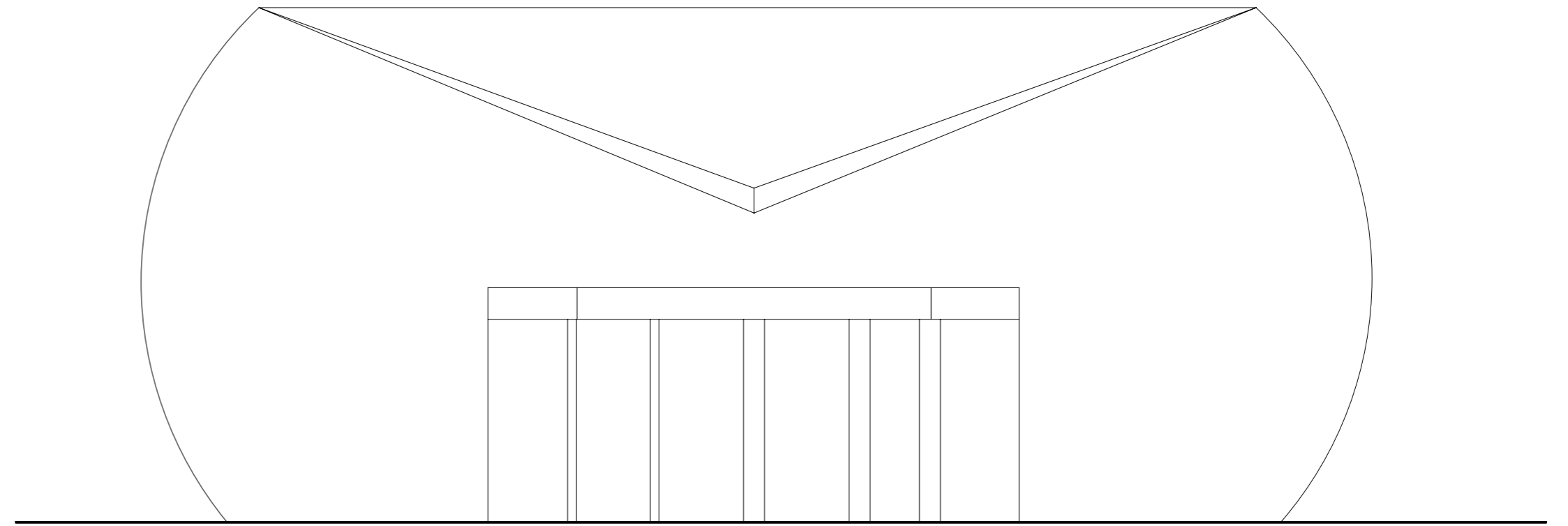
4階平面図(縮尺*1/300)



A-A断面図(縮尺*1/300)



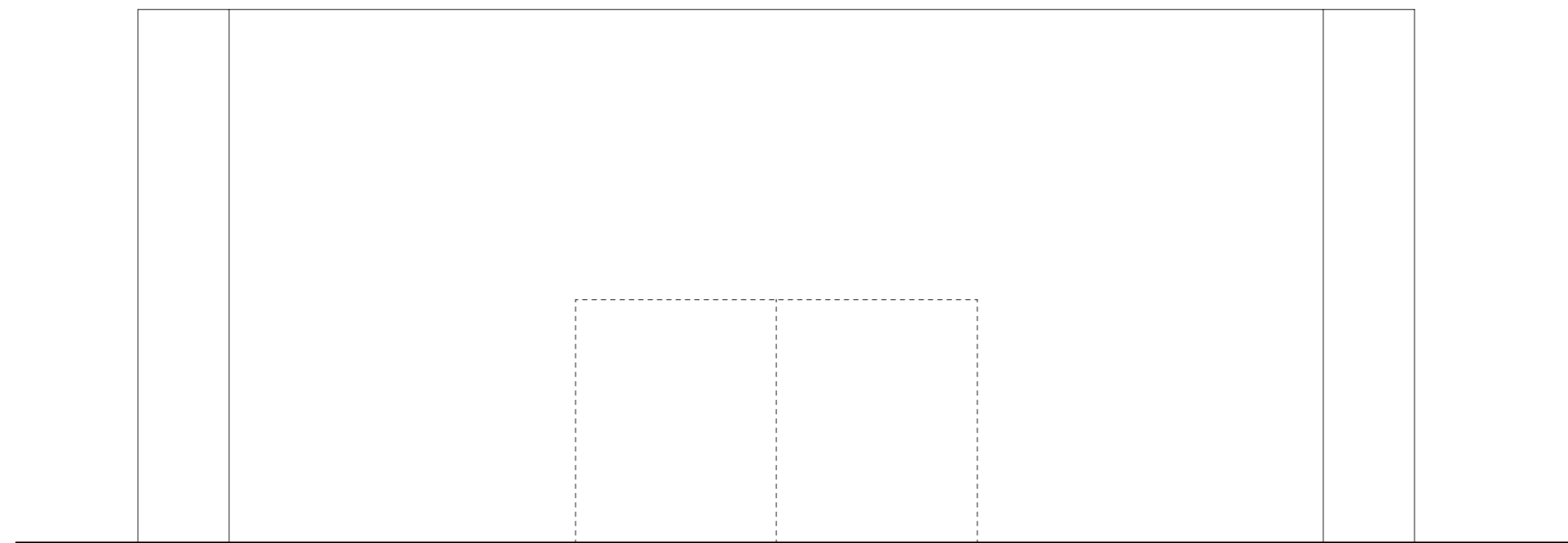
南側立面図(縮尺*1/300)



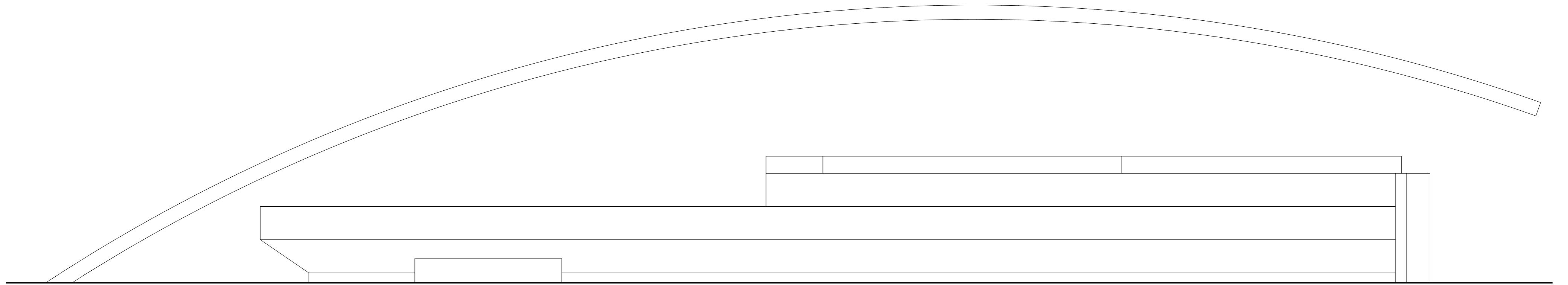
B-B断面図(縮尺*1/300)



北側立面図(縮尺*1/300)



西側立面図(縮尺*1/300)



東側立面図(縮尺*1/300)

